

「女性の活躍促進・企業活性化推進営業大作戦」

第4回 埼玉労働局長(安藤よし子)の企業トップ訪問

平成24年9月26日、東武レジャー企画(株)の嶋田社長をお訪ねしました



<訪問企業プロフィール>

東武レジャー企画株式会社(取締役社長 嶋田 勇治郎)

南埼玉郡宮代町大字須賀110番地

労働者数 139名(うち女性47名)



<訪問のあらまし>

平成24年9月26日、東武動物公園を運営している東武レジャー企画(株)の取締役社長嶋田勇治郎氏をお訪ねし、女性の活躍状況等について伺いました。取締役統括本部長の伴光雄氏にもご同席いただきました。

嶋田社長は初めに会社の概要について話してくださいました。



「東武動物公園は、昭和56年3月、東武鉄道の創立80周年記念事業として、鉄道沿線地域住民への恩返しの意味をこめてオープンしました。当初は東武鉄道からの出向者が多かったのですが、10年ほど前のグループ編成で、幹部クラスの出向者が大量に抜け、その穴埋めに若い人を登用したことから、従業員構造がややいびつです。女性は各業務にまんべんなく就いています。」とのこと。

従業員は、特殊な職務以外はパート・アルバイトで採用し、正社員にステップアップする仕組みで、本人のやる気、適性、ポストの空き状況等により早い人は1年あまりで正社員になるそうです。従業員を見ていて感じることは、女性の方が自分の将来像をしっかりとっていて芯がある、男性は少々押され気味、最近は特にその傾向が強い、と印象を語られました。

「飼育係や獣医は希望者が多いので募集の苦労はないのですが、遊園地関連スタッフはなかなか集まらない。実はどちらで入っても、入社後は、動物園も、遊園地もまんべんなく仕事をしてもらうので違いはないのです。どの仕事もお客様へサービスを提供するという点では同じ。できるだけ多くの職場経験を積んでもらいます。今の若者は、他人とのふれ合いが希薄なまま社会に出てきますので、人と接して、『ありがとう』と言われたりするとうれしい、そして純粹に喜びを感じる。それを積み重ねるうちに人との接し方を学び、自分なりの接客術を確立していく。動物の飼育も同じです。」

「一昔前は男性の職場でしたが、最近では飼育係は女性に人気の職業です。今は30人中10人が女性です。仕事は動物の世話はもちろんのこと糞の掃除をはじめ、力仕事、暑い中での過酷な仕事が多いにもかかわらず、男性顔負けに力仕事をこなす女性もいます。昔は、飼育係は動物に噛まれて当たり前という風潮がありましたが、今は従業員の安全重視で、危険動物、大型動物は間接飼育にするなど飼育ルール、作業手順も変わり、女性が働きやすい環境になっています。」と嶋田社長。

安藤局長が「正社員の女性は少ないようですが、女性の一番上の役職は。」とお尋ねすると、

「課長補佐の女性が一人います。遊園地事業部テクノロジー課で予算管理、在庫管理をしています。若い従業員のケアもしてくれています。その他の女性はまだ一般職です。再編の時に入社した30代の女性が多く、もう一頑張りです主任になれると思います。」とのこと



でした。

育児休業については、「産休、育休後、短時間勤務をとり勤務を続けている女性が1人います。これまでは、結婚したり、子どもができて働き続ける女性は少なかったのですが、最近は継続して就労する人たちが増えています。今後は育児休業も増えるでしょう。今働いている女性は優秀な人が多く、大事な戦力です。」

安藤局長から「子育て期のキャリアをうまく繋いでいくのがこれからの課題ですね。お客様にはファミリー層も多いので、子育て経験が仕事に生かせるメリットも期待できます。男性の育児休業についてはどうですか。同じ社内で働いていると、男性側の上司が『何でダンナにとらせないんだ』と言うかもしれませんよ。」と尋ねると、嶋田社長は、「男性の育児休業はまだ未体験ゾーンです。制度の周知はしていますが、細かいことまでは知らないと思うので、従業員には気軽に総務に相談するように話しています。」とのお話でした。

社長との会談後、業務部で働いている中嶋庸子さんからもお話を伺いました。

「元々動物が好きで、動物と関わる仕事に就きたくて、ここなら遊園地のアルバイトでも、もしかしたら動物の担当になれるかもしれないと思って入社した」そうです。初めは、所属が決まっておらず、今日はふれあい教室、次はメリーゴーランド、次はチケットもぎと、日々業務が変わるという経験も。その後、働きぶりが認められ、準社員を経て10年前から正社員になり、今は、子ども向けショー、花火、冬のイルミネーションなど様々なイベントを企画・運営しています。正社員としての責任の重さを感じながらも、「イベントでは念願だった動物にも近くて、今が一番やりたいことができています」と生き活きと話してくれました。

「お客様が安全に楽しめるように細かな気配りをしてくれます。これまでの経験が役立っているとおもいます。」と目を細める伴本部長。



園内では、多くの若い女性が働いていました。

動物の糞掃除も手際よく処理している姿に、頼もしさとさわやかさを感じました。

今後、女性達が経営にも参加するようになり、さらに安全で楽しいレジャーランドとして発展していくことを期待しながら訪問を終えました。

